

関鍛冶伝承館企画展

『朝廷と菊紋と関の刀工』

～天皇ゆかりの関鍛冶をたどる～

を開催します

刀剣を作り出す刀工は、日本に多数存在する“ものを作る職人”のなかでも、古くから特別な地位を確立してきました。そうした刀工の特殊性は、他の職人と同様に村や町の中で“もの(日本刀)”を作りながらも、貴族や武士、大名そして朝廷などの当時の権威ある存在と繋がりをつくることで生じたものと思われ、特に御番鍛冶という制度を設け刀工を奨励した後鳥羽院によって決定づけられます。

刀剣の主要生産地の1つである関の刀工達もまた、権威ある存在と繋がりを作ることで、刀工としての地位や日本刀の価値を高めてきました。関鍛冶で初めて国守の位に任じられた「和泉守兼定(之定)」や、正親町天皇より「大」の字を賜った「大兼道」、「日本鍛冶宗匠」に任じられた「伊賀守金道」などはその代表格であり、関の刀工達の中には、朝廷との繋がりを求めたものが数多く存在しています。

本企画展では、朝廷や、天皇とのゆかりを得た関の刀工を紹介し、その刀剣や資料を展示します。皇位継承にともない天皇や朝廷への興味関心が高まる時期に合わせて展示を行うことで、当時の権威と繋がることで地位を高めてきた関の刀工の歴史深さや、その担った役割を広く周知する機会にしたいと考えています。



1. 主催 関市
2. 協力 関伝日本刀鍛錬技術保存会
3. 会期 2019年3月21日(木祝)～
5月27日(月)(予定)
4. 開館時間 午前9時～午後4時30分
5. 休館日 火曜日・祝日の翌日
(いずれも休日を除く)
6. 会場 関鍛冶伝承館 2階展示室
7. 入館料 大人 300円 高校生 200円
小中学生 100円
(団体料金 大人 250円
高校生 150円 小中学生 50円)

〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関鍛冶伝承館 TEL/FAX : 0575-23-3825

観光課 TEL : 0575-23-7704 FAX : 0575-23-7741